



第5回「子ども司書養成講座」を開催しました
テーマ「めざせ！本のお医者さん」

まなび 1

修理について学びました。



まなび 1 「修理」

- 1 図書の傷みの原因
- 2 図書修理の心得
- 3 やってはいけない修理について学びました。



図書の状況をよく見極めて、適切な修理の方法を判断します。図書の構造、素材、技法の知識や経験に基づいた技術や判断力が必要です。

☆司書が一番大切にしていること☆

図書に対して敬意をもって作業をすること

まなび 2

装備実習「絵本にブッカーをかけてみよう」

実習開始！

「うまくできるかな？」 「ドキドキするなあ」 「司書さんSOS！」 「むずかしそう」



友だちと協力し合って作業中！ 「なんとかかひとりでできそう」

説明書をよく読んで

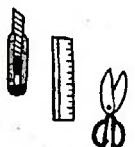
「持ってあげるよ」

頭の中で出来上がりをイメージ！

「ふむ ふむ」「なるほど」「そういうことか」



「こんな感じかな？」 「細かい作業だなあ」 「スケールは慎重にあてないとね」 「斜めに切るのはピミョー」 「きんちょうするなあ」





子ども司書だより 第10号

第5回 「子ども司書養成講座」を開催しました

テーマは「めざせ！本のお医者さん」

まなび1 修理

まなび2 装備



子ども司書さん

ひとこと感想

絵本にブッカーをかける事をしてみたらいろいろと気づかして面白い人だった。
Yブヤ

本のおいしやさんの仕事はたいへんなんだなと思いました。
ちーちゃん

この作業をやって、図書館の人は本がずいしてもわれないようにしていることを知り、いままよりも大切にしようと思いました。
あこ

ガバーをかけるのにはたくさんのおまがわかることを知った。
Yuna

ブッカーをかけるのが、あんがいかんたんで、びっくりしました。でも、とても楽しかったです。
さんちゃん

本をコーティングしてみているいろいろな知しきがある。ええ。むずかしかった所も早くできました。またやってみたいと思った。
ちーちゃん

ブッカーをかけるのがむずかしかった。空気が少し入ってしまった。
てし

ひとこと感想
「ゆかり」のしからずです。
てし

ブッカーをかけるのが本当にたのしかったです。
マナジユ

ブッカーはかけるのがとてもむずかしかったけどまあまあうまくできたからよかったです。
さわ

しっは。しいたところもあるけどはるのガたのしかた。
えみり

ブッカーをかけるのはむずかしい
ヒロ

修理はとて大変で、司書は何冊もこの作業をしているのかと。
おどろいた。
えなり

ブッカーをかけるのが楽しかった。
ひい

ブッカーをかけるのはむずかしかったけど、きれいにできたのでうれしかったです。
優衣

はじめて、本のカバーをして、とても楽しかったです。自分の大切な本もカバーを試してみたいと思いました。
ひめ

また本がやぶれたりしたら、修理のし方を思い出して、やりたく思いました。
ワタナ

絵本にブッカーをかけるのはむずかしかったけど、終わった後のたのしい感じはきもちかったです。
朝香

